



2023年12月14日

各 位

会 社 名 株式会社LAホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 脇田 栄一  
(東証グロース・福証 コード2986)  
問合せ先 取締役 栗原 一成  
電話番号 (03) 5405-7350 (代表)  
(URL <https://www.lahd.co.jp/>)

## ストームハーバー証券株式会社との業務協力に関する覚書締結のお知らせ

当社は、2023年12月14日開催の取締役会において、ストームハーバー証券株式会社（以下「ストームハーバー証券」といいます）との間で業務協力に関する覚書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業務協力の理由

ストームハーバー証券は、2009年に設立されたグローバルな金融市場に精通した独立系投資銀行です。

同社の事業領域は、金融商品の仲介やアドバイザー業務といった一般的な投資銀行業務にとどまらず、国内又は海外の機関投資家引受によるエクイティファイナンスやM&A・資本業務提携等のアドバイザーのほか、ファンド及び金融商品の組成、マーケットリスクヘッジ戦略の策定、スタートアップ及び未上場企業の資金調達支援など多岐にわたっており、同社は、顧客企業の軍師・参謀として企業価値向上のための財務戦略・資本政策全般に関するアドバイザー業務を提供しております。M&A領域においては、国内外のM&A案件の紹介やエグゼクティブ支援にとどまらず、M&A及びそれに伴う資金調達（デッド、エクイティ、ハイブリッドファイナンスを含む）のアドバイザーや、クロスボーダーM&A及びそれに伴う為替リスクヘッジのアドバイザー等、顧客企業の企業価値向上の観点から、テラーメイドの財務戦略・資本政策のアドバイザーを展開しております。

当社は、『2023年～2025年 中期経営計画』（事業計画及び成長可能性に関する事項）（2023年2月14日付公表）を策定し、当社グループの成長戦略として(1)既存事業の深化、(2)新規事業の創出、(3)M&A戦略の強化を掲げ、各取組みを進めております。当社は、今後も更なる業績及び事業規模拡大を継続して行い、持続的な成長を実現していくために、既存のコア事業の深化に加え、積極的なM&Aの推進及び新規事業の創出による新たな収益機会の獲得が必要不可欠であると考えております。

従いまして、今後も、更なる事業規模拡大及び持続的成長を図るため、当社グループと高いシナジー効果が得られる企業や地域における事業拡大により地方創生に寄与する企業を対象として、M&A又は戦略的提携による成長投資を積極的に推進していく方針です。具体的には、①特定のマーケットにおいて高いシェアを有する地方の中堅企業、②後継者不足など事業承継の課題を抱えている企業、③独自の商品・サービスを有し、かつ参入障壁の高い市場で優位性を持つ企業等を主な対象として、積極的に検討を進めてまいります。また、対象業種につきましても、①コア事業である不動産開発事業や不動産賃貸事業の拡大・拡充を目的とした同業種への投資検討を進めるほか、②グループとしての事業エリア拡大のため、設備関連やセキュリティ、メンテナ

ンス等の不動産関連業種、③新たな収益機会となる事業展開のため、再生可能エネルギー事業やDX事業等の成長分野への投資検討など、幅広く検討を進めてまいります。

以上のとおり、今後、当社がM&A戦略を更に強化していくにあたっては、財務戦略・資本政策やM&Aスキーム等に関する専門的知見・ノウハウがますます重要となり、当該分野において実績を有する専門的パートナーとの協業を進めていくことが必要不可欠であります。これまでストームハーバー証券は、株式会社ラ・アトレ（持株会社体制への移行により株式会社ラ・アトレは2020年6月に上場廃止となり、現在は当社が親会社となっております）による2017年6月30日付公表「ストームハーバー証券株式会社との業務協力に関する覚書締結のお知らせ」との通り、株式会社ラ・アトレとの間で業務協力に関する覚書を締結し、当社の持株会社体制移行後においても、当社グループに対し、不動産証券化を含む不動産取得・投資スキームの考案・構築、資金調達スキームの考案・構築、M&A戦略に関するアドバイザー等を継続的に行っております。また、ストームハーバー証券は、株式会社ラ・アトレによる第6回新株予約権の発行（2017年5月26日付公表）、当社による第4回・第5回新株予約権の発行（2021年3月5日付公表）、当社による第10回・第11回・第12回新株予約権の発行（2022年8月10日付公表）において、当社の財務アドバイザーを務めており、上記ファイナンス以外の面においても、当社の資本政策及びM&A等に関して継続的に情報提供ないし助言を行っております。

今般、ストームハーバー証券との本業務協力に基づき、同社の豊富な市場経験に基づく専門的知見・ノウハウ及びグローバルなネットワーク等を活用することによって、当社グループにおけるM&A戦略を更に強化し、新たなM&Aスキームの検討や、当社のみでは現時点で取組困難なM&A案件等についても、今後積極的に検討していくことを視野に入れております。さらに、これまでの当社との関係性及び同社の実績から、引き続き、国内又は海外の機関投資家・ファンド・協業パートナーの紹介や、当社の財務戦略・資本政策全般に関するアドバイス等も期待できるなど、事業上のシナジーが高いことから、このたび、同社が有する専門的知見・ノウハウ及びグローバルなネットワークは、当社グループの事業規模の拡大及び企業価値の向上に寄与するものと判断し、改めて同社との業務協力に関する覚書を締結することといたしました。

## 2. 業務協力の内容等

- (1) 国内及びクロスボーダーM&A案件の紹介・情報提供
- (2) M&Aスキームの考案・構築
- (3) M&A戦略及び手続き全般に関するアドバイスの提供
- (4) 不動産証券化を含む不動産取得・投資スキームの考案・構築
- (5) 不動産ファンド組成に関するアドバイスの提供
- (6) 共同での不動産プロジェクト開発及び案件組成
- (7) M&A又は不動産取得に伴う資金調達スキームの考案・構築
- (8) M&A又は不動産プロジェクトに参画する投資家・金融機関・事業法人等の紹介
- (9) マーケットリスクヘッジ戦略の考案・構築
- (10) その他両社に有用な情報の相互提供

## 3. 業務協力の相手先の概要

(1) 名称	ストームハーバー証券株式会社	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号	
(3) 代表者	代表取締役社長 渡邊 佳史	
(4) 事業内容	金融商品取引業	
(5) 資本金	390,000千円	
(6) 設立年月日	2009年7月	
(7) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当該会社は、株式会社ラ・アトレによる第6回新株予約権の

		発行、当社による第4回・第5回新株予約権の発行及び第10回・第11回・第12回新株予約権の発行に関し、株式会社ラ・アトレ及び当社の財務アドバイザーを務めております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

なお、上記「業務協力の相手方の概要」のうち、「大株主及び持株比率」並びに「最近3年間の財政状態及び経営成績」の記載については、当該相手方の要請により非開示とさせていただきます。

#### 4. 日程

(1) 取締役会決議	2023年12月14日
(2) 業務協力に関する覚書締結日	2023年12月14日

#### 5. 今後の見通し

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想 (2023年2月14日公表) 及び前期実績

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (2023年12月期)	30,000	5,500	4,800	3,400
前期実績 (2022年12月期)	18,253	4,226	3,730	3,397

以 上